

ぐーちよきぱー

2002年（平成14年）3月発行

2010年（平成22年）3月改訂

こうち男女共同参画センター「ソール」

〒780-0935 高知市旭町3丁目115番地

Tel : 088-873-9100

Fax: 088-873-9292

インターネットホームページ : <http://www.sole-kochi.or.jp>

E-メール : sole@sole-kochi.or.jp



ぐーちよきぱー

Vol.3
改訂版

Gu·Choki·Pa



ジェンダーってなあに？

ぐーちょきぱー



物事には両面がある
ぐーちょきぱーの関係のように

.....

ひとつの手のひらがいろんな形をつくれます。
私たちがあたり前と思っていることを
別の面からみたら、違うものが見えてくるかもしれません。
「ぐーちょきぱー」は
女性問題をさまざまな角度からひもとき
あなたと共に考えます。

ジェンダーってなあに？



持ち主は

どっちが女の子で、どっちが男の子？

黒が男の子で赤が女の子！当たり前だよ。

と、お思いのあなた。

それって「ジェンダー」にしばられているんだよ。

もし、あなたが「ジェンダー」にしばられて、
自分らしく生きられないとしたら？

.....

身近に隠れている「ジェンダー」を見つけだす第一歩、
扉を開いてみましょう。

ジェンダーのおはなし

人は生まれてきたときに、一般に、男の子、女の子と区別をされています。このような生物学的な性別（Sex）に対し、社会的に作られた性差を「ジェンダー（Gender）」といいます。いわゆる男らしさ、女らしさがこれにあたります。

ジェンダーの意識は、私たちの身の周りにまだまだたくさんあります。みなさんも知らず知らずのうちに自分のなかに刷り込まれているかもしれません。

強くて力持ちで野球が好きな女の子もいれば、優しく料理が得意な男の子っています。黒いランドセルを持ちたい女の子もいれば、赤いランドセルがいいと思う男の子だっているかもしれません。

男の子だから、女の子だからという理由できゅうくつな思いをしたり、何かをあきらめたり……。

性別にとらわれず、自分らしさを大切にできるように、まずはここにもそこにもあそこにもある身近なジェンダーを探っていきましょう。たくさんの「おかしいな？」を感じることで見えてくるものについて一緒に考えてみませんか？



ねえねえ
あたしと一緒に
考えてみようよ！

家事は女の人の役割？



うちの両親は共働き。

だけど、料理も掃除も洗濯も小さな弟の保育園の送り迎えも、やっているのは全部ママ。パパの方が帰りが早い日だってあるのに。

「どうしてパパはやらないの？」ってママに聞いたら

「昔から家事は女の人の役割と決まってるからかしらね。あまり考えたことなかったわ。やらなくちゃいけないと思っていたから。」

・・・家事は女の人の役割って誰が決めたんだろう？

男性は仕事、女性は家事・育児という
考え方を「性別役割分担意識」といいます。

最近は、共働きを選択する家庭も増えてきました。けれども、「家事は女性の役割」という意識がまだまだ根強い日本では、女性にだけ家事の負担がかかり、家事は自分一人で、と背負い込んでしまうことも多いようです。同じように、男性にも、「男性だから」というだけで仕事での評価を期待されてしまったりします。

女性だから、男性だからというメガネを外して、そして自分自身もその殻を破ることができたとき、ママもパパも「あなた」ももっと自分らしく生きられるのだと思いませんか？

パパ、ママのごはんは？



いつも元気なママが風邪をひいて寝こんでしまいました。
 小さな弟のめんどろと食事のしたく・・・いつもママがやっていること。

・・・パパはママに「子どもたちと僕は、外でご飯を食べるから心配ないよ」
 って、
 待ってパパ、ママのごはんはどうするの？

すてきな関係



となりに新婚夫婦が引っ越してきました。それがね、ここの新婚さん、ちょっと今風で、夫婦なのに名前は別々だし、男の人の方がスーパーで買い物したり、
 かいらんばん
 回覧板を持って来たりしてる。

・・・近所のおばさんたちは「あそこのご主人、毎朝洗濯物を干しているのよ、偉いわねえ。」ってよくウワサしてるんだけど、それってそんなに偉いこと？
 ふつうのことをしているだけと思うんだけどなあ。

みなさん、ここにある
 ジェンダー、わかりましたか？
 ごはんをつくるのは、女の人の仕事だと思
 こんでいるパパ。だから、ママが病気になっても自分
 がお料理するなんて、考えもしないし、流し台がいっぱ
 いでも気が付かない。ましてや、ママのごはんなんて思
 いもよらないんですね。これはパパが悪い人だから、
 って訳ではなく、ジェンダーにすっかり縛られて
 しまっているからなんです。この例は少し極端
 かもしれないけれど、あなたのまわりに
 心当たり、ありませんか？

ジェンダーの玉手箱

この数字なーんだ？

89.5%

家庭での家事分担のうち、主に妻が家事
 をしていると答えた人の割合です。
 共働きの家庭が増えていますが、まだま
 だ「家事は女性の仕事」と考える人が多
 いようです。

資料：内閣府「男女のライフスタイルに関する意識調査」
 平成21年9月

男性が家事をしている
 場面は、まだまだ限られています。
 例え、本人が進んでやっていたとしても、まわ
 りの人たちには、(家事を)させられていると受け
 止められたり、既婚男性の場合は、離婚したのかと勘ぐ
 られたり。女性が家事をしている場合はこのような
 ことはまずありません。
 これは、依然として、家事は女性がするもの
 だという考えが根強いことを表して
 います。

ジェンダーの玉手箱

変えてみませんか？
 よく聞く言葉。

「奥さん」 「旦那さん」
 「家内」 「主人」

「妻」「夫」
 「パートナー」へと

おじいちゃん「男女共同参画」にももの申す。



うちのおじいちゃんは、よくため息をつきます。
 「しょせん、男と女はからだのつくりが違うのじゃ。だからそれ相応のふさわしい役割が決まっている。女は家事・育児、男は仕事というふうなの。それが、やれ男女共同サンカクじゃ、やれじえんだあうんぬんだの、女が男と同等に並ぼうなんて、たわけたことを言っているから世の中はおかしくなるのじゃ。女は慎ましく、家をしっかりと守っていればよい。」

・・・女の子は、結婚して、子どもを産んで育てることが幸せってこと？
 でも「幸せ」って人それぞれじゃないかなあ？

女性は家事・育児、
 男性は仕事という一つの基準をつくり
 (これがジェンダー)、その枠に収まらない
 とき差別が生まれます。また、男女共同参画とは、
 単に女性が男性と同等に並ぶことをめざすという意味
 ではなく、女性が女性であるというだけでハン
 ディを背負ってしまう社会を、それぞれの
 個性が生かせる社会にしていこうと
 いうものです。

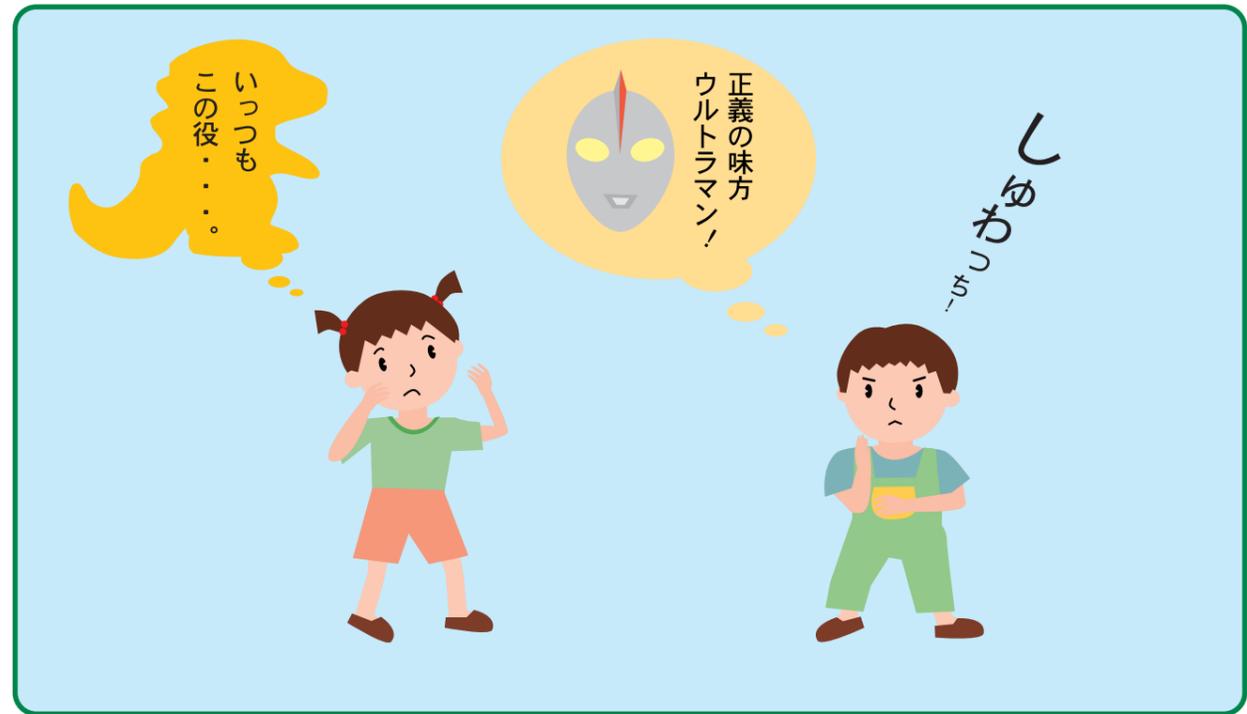
ジェンダーの玉手箱

どこが違うの？

「参加」 「参画」

「参加」は、色々な場に顔を出すこと、
 「参画」は、組織やグループの決定に
 影響を与え、責任を持つという積極的
 な意味があります。

ウルトラマン？ウルトラウーマン！



あたしの弟は、ウルトラマンが大好き。
 いつもウルトラマンごっこをやろうってうるさいから付き合ってあげるんだけど、「ウルトラマンは男じゃないとだめなんだよ！」って、必ずウルトラマン役をやりたがる。

・・・お姉ちゃんだってたまにはウルトラマンをやりたいよ。大体、どうしてウルトラマンは、男じゃないとだめなのさ？

ウルトラマン、
 アンパンマン、クレヨンしんちゃん・・・
 おなじみの主人公たち。ところで、気づいていましたか？これらはどれも男の子
 であることに。
 主人公が男の子というのがいけないというわけではありません。けれども男の子が主人公の物語は圧倒
 的に女の子のそれよりも多く、それは、社会の主役は男の子で脇役が女の子、男の子は強く勇敢で、女の
 子は心優しく従順というイメージを植え付けてしまいます。
 もちろん女の子が主人公のお話もあります。おとぎ話でいうと、シンデレラ、しらゆき姫、眠り姫な
 ど。けれど、これらには共通して、素敵な王子さまをひたすら待ち続け、結婚することが女性
 の幸せであるという暗黙のメッセージが隠されています。女の子にも男の子にも
 いろんな個性があります。性別にとらわれない、個性を
 生かした人生の主人公になってくださいな。

男は泣いちゃダメ？

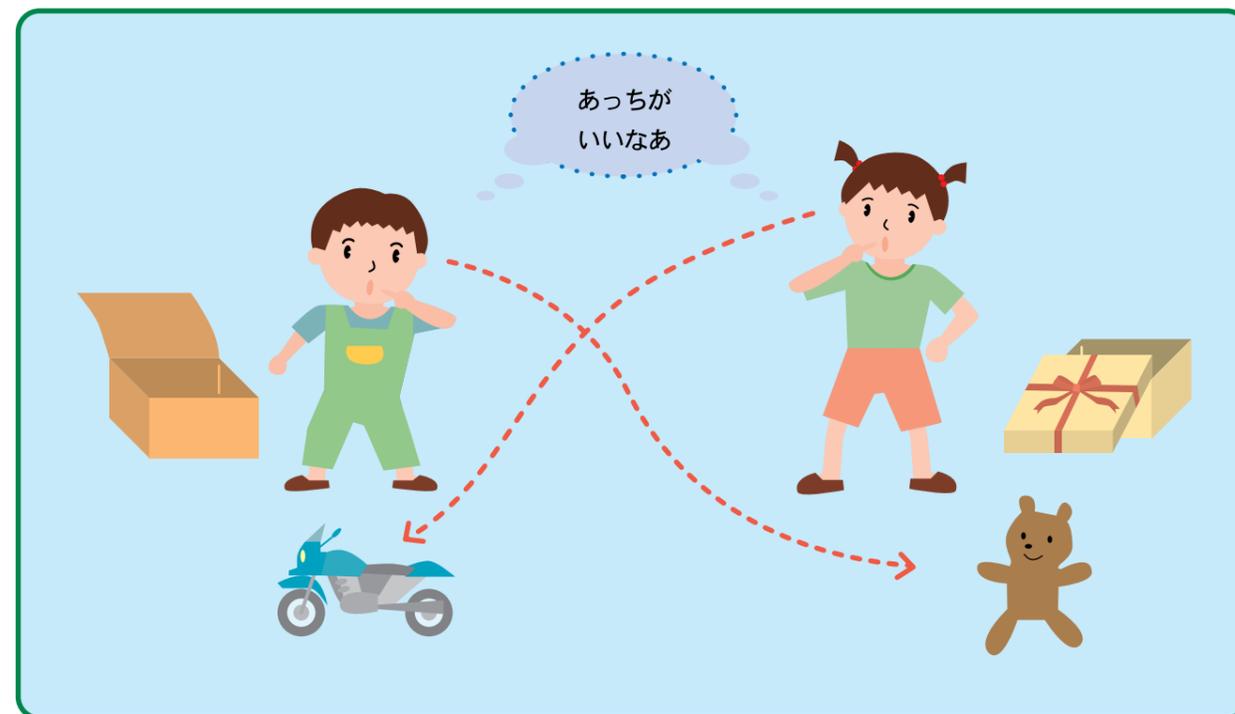


あたしの弟は甘えんぼで泣き虫。
おもちゃがほしいと言っては泣き、セミをとりにいきたいと言ってはだだをこね、お友達とけんかしては泣きじゃくる。
この間も、ひとりで転んで泣いていた。

・・・弟が泣いてると、ママが必ず言う言葉。「男の子でしょ、泣いちゃだめ。」
あたしが泣いてても「女の子でしょ、泣いちゃだめ。」とは言われたことないのに。どうして男の子は泣いちゃだめなの？

一般的に「涙」、「泣く」は弱いイメージを伝えてきました。このため、男は強くあるべきと言われてきた社会では、男は泣くものではないと言われてきました。涙は痛いときだけではなく、悲しいとき、うれしいとき、悔しいときにも出ます。我慢することはありません。男らしく、女らしくよりも人間らしくがいいですね。

おもちゃ



県外にいる親戚のおじさんが久しぶりに遊びにきました。
おじさんからのおみやげは、あたしにはクマのぬいぐるみ、弟にはバイクのおもちゃ。

・・・ありがとう、おじさん。
だけど、あたしもバイクがよかったなあ。
くすん。

遊びやおもちゃの中にもジェンダーは潜んでいます。

ぬいぐるみには女の子はおとなしく優しく、ままごと遊びには「家事は女性の仕事」というジェンダーがあります。反対に、男の子の場合はバイクなどの乗り物のおもちゃなど、男性は勇敢で強くたくましくというジェンダーが潜んでいます。

小さいうちから、知らず知らずに男らしさ、女らしさを身につけていきがちですが、女性も男性もさまざまな可能性を秘めています。その可能性を花開かせるために、性別にこだわることなく、好きなことや、興味のあることにはどんどん挑戦していきましょう。

ジェンダーの玉手箱

使っていませんか？こんな言葉
(女の子編)

女の子なのに、
気が強い。

「男の子なのに、気が強い」とは言わないよね？

学校（名簿と順番）



学校で先生に聞いてみた。「どうしていつも男子が先なの？男子は女子よりもえらいんですか？」

先生は「出席名簿を男の子と女の子で分けるのは当然。順番に並ぶときは、男の子が先で女の子が後。それが自然なんだよ。ずっとこうだったしね。」

・・・ね、先生。「自然」っていったいなんですか？

トイレや更衣室、身体検査は男女別。これは「必要な区別」です。けれども、出席名簿を男女で分けてしまったり、順番を常に男子が先とすることに何の意味があるのでしょうか？ランドセル、靴箱、ロッカーの男女別などもそうですね。

「そんなのなんでもないことだよ、こだわるんじゃない」と思う人もいるかもしれません。けれども、こうした「不必要な区別」を繰り返すことによって、人はこれが当たり前で自然なんだと無意識のうちに思ってしまうようになります。

ジェンダーの玉手箱

この数字なーんだ？

47.4%

平成21年現在の高知県の公立小学校の男女混合名簿の実施率です。平成12年の10.3%と比べると増加しています。

エプロン



クリームシチューのCMで、シチューを作ってお父さんの帰りを待っているのは、エプロン姿のお母さんと女の子。

台所用洗剤のCMで、「油污れもよく落ちる」とびっくり顔の、エプロン姿の女の子。

介護用ベッドのCMで、実際に介護をしているのは、またまたエプロンをした女の子。

・・・エプロンって女の子のためのもの？

最近では、夫婦で家事をしていたり、男性が家事をしているCMも見かけるようになりました。けれども、まだまだ大半が女性＝家事・育児・介護を当然とする映像が多いのが現状です。

メディアがこのような固定的な性別役割分担のメッセージを送り続けることで、見る側のジェンダー意識は知らず知らずのうちに強化されていきます。私たちは、メディアが描く女性像・男性像をうのみにせず、ジェンダーに敏感な視点を身につけていかなければなりません。

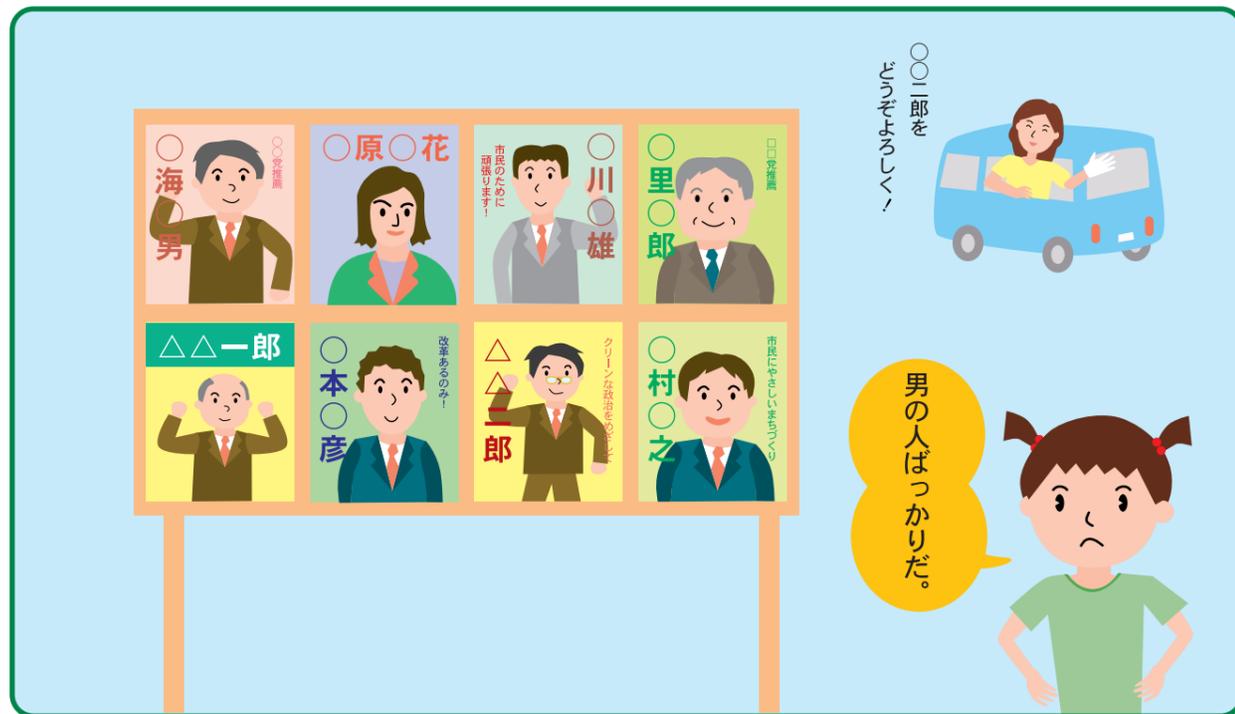
ジェンダーの玉手箱

キーワード

ジェンダー・ステレオタイプ

「女性は家事・育児、男性は仕事」のように性別に対して人々が抱く、思い込みや固定的なイメージのことを言います。

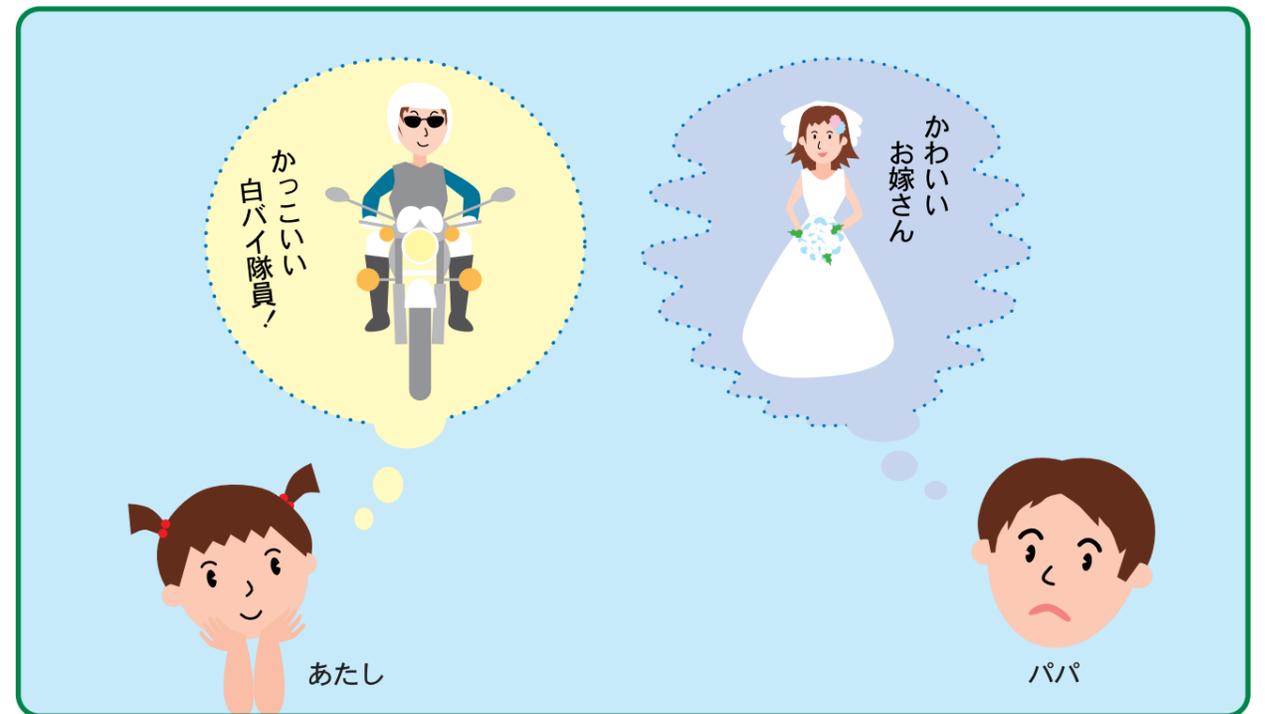
女性の割合



最近、選挙カーが町を走り回っています。車の中から白い手袋をした女の人達が沿道に向かって手を振ってるの。国会議員の選挙なんだって。学校の帰りに、立候補した人のポスターがいっぱい貼ってある看板もみたけど、男の人ばかりで、女の人ってあまり見なかったなあ。

・・・世の中には女の人と男の人半分ずついるのに、政治の世界は男の世界って決まっているのかなあ？

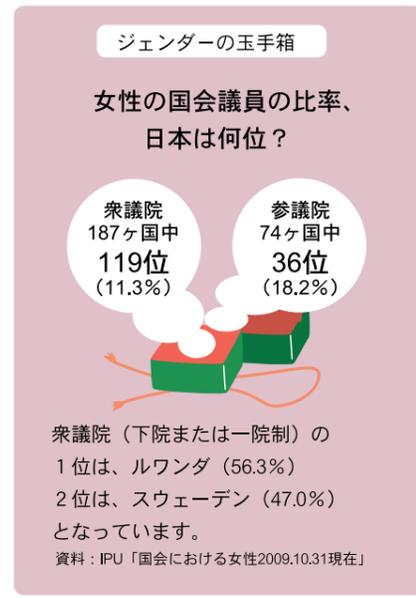
将来の夢



パパ：「大きくなったら何になりたい？」
あかし：「白バイ隊員！」
パパ：「・・・！。だめだよ、そんな危ない仕事！女の子なんだから。何かあったら大変だよ。やめておきなさい。」

・・・なんで女の子だったらだめなの？男の子だったら危なくないの？

日本の女性が参政権を得たのは1945年。しかし、日本では、まだまだ政治の場面で活躍する女性が少ないのが現状です。政治の場に女性の名乗りをあげることも自体が少ないこともあり、その背景にはやはり男は外、女は内という性別役割分担意識が隠されています。女性も男性ものびのびと生活できる社会をつくるには政策決定等の重要な場に男女が同数いることが大切です。ノルウェーでは、一方の性が全体の少なくとも40%を占めなければならないという公的な施策（クオータ制）によって、議会などにおける女性の進出が目立つようになりました。



最近では、男性しかいなかった職種に女性の姿も増えてきました。けれどもまだまだ、白バイ隊員や、パイロット、建設作業員などには男性が多く、保育士や看護師などケア役割の延長にあるような職種には女性が多いのが現状です。「女性（男性）にふさわしい仕事」と性別でひとくくりにしてしまうと、個人の適性が見過ごされてしまいます。よく「力仕事は男性」と言われますね。だけど、力が弱い男の人だっているし、力の強い女の人だっています。また例え力が弱くても、その仕事ができない決定的な理由にはならない場合だってあります。女の子だから、男の子だからということではなく、「あなた」にふさわしい仕事、そして生き方を見つけてくださいね。

ジェンダーの玉手箱

キーワード

ケア役割

「ケア」とは「世話をする」の意味。家事、育児、介護、クラブ活動のマネージャー、職場におけるお茶くみ等。固定的な性別役割分担の中で、これまで主に女性が担ってきました。

知っへん?

Q-1

夫婦のみの共働き世帯での、妻の一日の家事時間は3時間3分。では、夫の一日の家事時間は?

Q-2

ノルウェーでは、育児休暇のうち4週間は父親が取らなければならない。父親がこの休暇を利用しない場合、母親が代わりに取得することはできません。さて、この制度とは?

Q-3

次のうち、ジェンダーに縛られているのは誰でしょう?
 Aさん「論理的で説得力があるのはやっぱり男性」
 Bさん「妊娠・出産するのは女性です」
 Cさん「子育ては女性だけが持っている本能だ」

Q-4

日本の各県の知事はほとんど男性ですが、2000年に初めて女性の知事が誕生し、現在は全国で3名女性の知事がいます。その都道府県名は?

Q-5

世界で最も早く女性が参政権を得た国はどこでしょう?

いくつ答えられるかな?



高知のことも知ってる?

Q-6

「民権ばあさん」ともいわれ、日本で初めて婦人参政権を要求した高知市出身の女性は?

Q-8

高知市の市議会議員は44名。うち女性は何名?

Q-7

高知県の県議会議員は39名。うち女性は何名?

Q-9

高知県の雇用者全体に占める女性の割合は以前から全国平均より高いです。では、一体、何%?

こたえ

Q1: 25分(平成18年総務省社会生活基本調査)
 Q2: パパ・クォータ制*これにより、80%以上の父親が育児休暇を取るようになりました。
 Q3: Aさん、Cさん
 Q4: 北海道(高橋はるみ知事)、山形県(吉村美栄子知事)、滋賀県(嘉田由紀子知事)平成22年3月2日現在
 Q5: ニュージーランド(1893年)*ちなみに日本は1945年。

Q6: 楠瀬 喜多(くすのせ きた)
 Q7: 2名(平成21年5月現在)
 Q8: 9名(平成20年12月現在)
 Q9: 48.6%(平成17年総務省国勢調査)
 ※ 全国平均は43.4%

ジェンダーチェック



次の質問に「はい」「いいえ」で答えてみてください。「はい」はいくつありましたか。

- はい いいえ 女は女らしく、男は男らしくあるべきだと思う
- はい いいえ 女の子はおとなしくて素直な性格の方がいい
- はい いいえ 生徒会長や責任のある仕事は男子の方が向いている
- はい いいえ 勉強やスポーツで女子が男子に勝つと気になる
- はい いいえ 男には赤ちゃんの世話は無理だ
- はい いいえ 算数や理科は男子、国語や音楽は女子に向いている
- はい いいえ 家族を養うのは男の役割だ
- はい いいえ 子どもが生まれたら女性は仕事をやめて家事・育児に専念するのが当然だ
- はい いいえ 男が人前で泣くのはみっともない
- はい いいえ 男が家事をするのは、おかしいことだと思う
- はい いいえ 男子が先、女子が後の名簿でもいいじゃない
- はい いいえ 女の子が大工さんやダンプの運転手になりたいというのは変だ
- はい いいえ 男の子が保育士さんや看護師さんになりたいというのは変だ
- はい いいえ 料理や育児は男性より女性の方が向いている

質問に答えてみていかがでしたか?

「はい」が少なかった人、女らしさや男らしさではなく「自分らしさ」を大切にすることが大事だということが分かりかけたかな。

「はい」が多かった人、もう一度自分の中にある「らしさ」について考えてみませんか。

ジェンダーにとらわれない社会へ

これまで、女性たちの多くは「女性はこうあるべきだ」という意識に縛られ、女性たちが本来持っている多様な能力を抑制され、女性の社会的な活動に制限を加えられてきました。

また男性たちも「男らしさ」というジェンダーに縛られることで、自分らしく生きることを阻まれてきました。

皆さん一人ひとりがジェンダーに縛られることなく、自分らしく生きることができる社会、性差別のない社会を作っていくためにはどうしたらいいのでしょうか？

「色だの順番だのそんな細かいこと、どうだっていいじゃないか。差別をなくすにはもっと大切なことがあるだろう？」

「もっと大切なことってどんなこと？」

「意識を変えること。」

「じゃあ、意識を変えるにはどうしたらいいの？」

「それはいろいろと・・・」

「いろいろ？具体的には？」

「う～ん・・・」

差別はいけない、意識を変えることが大切ということは、ほとんどの人が分かっているのに、まだまだ差別は残っています。私たちが当たり前、そんな常識と思っていた意識や仕組みの中に、多くのジェンダーが潜んでいます。

些細なことと思われていることの積み重なりが、私たちの意識の中へ刷り込まれ、それが当たり前、常識となって差別を引き起こす元となり、同時に再生産されてきました。

目に見えない意識を変えるためには、目に見える些細なことに注意を払い、一つひとつを洗い出し、元をたどっていくことがその意識を変えていくための第一歩となるのではないのでしょうか。

もちろん、女らしさ、男らしさを大切に思う人を否定するものではありません。

個々の人生はそれぞれの自由な選択に委ねられるべきです。個人個人が自由に生き方を選べる社会、選択肢の多い社会、そして、その生き方をお互いに理解し尊重し合える社会が真の幸福な社会といえるのではないのでしょうか。私たちはそんな社会をめざしています。

主な参考文献

- ジェンダーを学ぶ／堤かなめ・窪田由紀編／海鳥社
- 男女平等教育補助教材「どうしてわかるの？」活用の手引／横浜市・横浜市教育委員会
- メディア・リテラシーとジェンダー／(財)大阪府男女協働社会づくり財団
- 女性のデータブック第3版／井上輝子・江原由美子編／有斐閣
- 日本のフェミニズム⑦表現とメディア／井上輝子ほか編／岩波書店
- 統計にみる女性の現状（第6版）／婦人教育研究会編／垣内出版
- 女性問題キーワード111／矢澤澄子監修／ドメス出版
- 学校をジェンダー・フリーに／亀田温子・館かおる編著／明石書店
- CHEER UP! 女性と政治のイイ関係／吉田里江著／近代文芸社
- GENDER FREE 若い世代の教師のために／(財)東京女性財団
- ジェンダー・ノート 女と男のなぜとなに／樋脇由利子著／花書院
- ひらけ ごま イラストでよむ北京世界女性会議「行動綱領」／ブラウ・プロジェクト制作
- 一寸ちゃんがゆく／奥山和弘著
- 女性展望 2010年1月号
- こうち男女共同参画プラン／高知県
- 高知市男女共同参画推進プラン／高知市
- こどもジェンダー探偵団／和歌山県女性政策課

